



当院の透析患者様のほとんどは外来通院されている方ですが、当院には一般病棟、療養病棟、回復期リハビリ病棟もありますので、入院患者様も数名いらっしゃいます。当院は当地区で唯一透析導入を実施している病院です。そのため、地域に密着した医療サービスの提供を目指しています。

当院で透析治療を受ける患者様の特色として、地域柄高齢患者様が多く、認知機能低下からくるセルフケア不足や通院困難など、多種多様な問題に日々直面しております。透析センタースタッフ一同協力し、患者様の抱える問題点に対し柔軟な対応を心がけ、解決・サポートできるよう努めています。

夜間透析に通う患者様は、お仕事をされながら透析をしている方がたくさんいらっしゃるため、そのような患者様に対してはできるだけ長く患者様自身の社会生活を続けられるようサポートさせて頂いております。

看護師長 唐鎌千代

## 透析センター 概要

スタッフ数 看護師 12名、臨床工学技士 5名、看護補助者 3名 (H31.4.11 現在)

病床数 49床

### 透析スケジュール

- ・1クール 8:45 ~ 14:30
- ・2クール 12:30 ~ 18:00
- ・夜間 14:45 ~ 21:00

月・水・金	1クール	患者数	48名	夜間	患者数	41名
火・木・土	1クール	患者数	48名	2クール	患者数	11名 (H31.4.11 現在)

当院の透析スケジュールは曜日によって透析実施の時間帯が違います。月・水・金は1クールと夜間が主な実施時間となっており、火・木・土は1クール、2クールの時間帯が主な実施時間となります。その他夜間急変時に臨時透析を実施することもあります。

## 穿刺について

当院では臨床工学技士と看護師の両職種で穿刺を実施しています。穿刺経験の無い方は先輩がペアとなり穿刺の指導を実施しています。またいきなり穿刺業務をするのではなく、穿刺介助から指導が始まり段階を追って穿刺業務に入ります。



## 準備について

プライミング作業は臨床工学技士の役割ではありますが、看護師もカプラの接続や簡単なプライミング作業は実施しています。当院の透析機器はすべて自動プライミングが可能です。

看護師は当日来院する患者様の情報収集や透析前のバイタルサイン測定や体重計算、除水設定などが主な作業となっています。



## 患者指導について

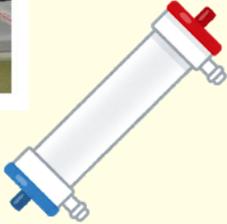
当院の透析センターには常駐の管理栄養士は現段階ではいません。そのため患者様の食事指導は看護師が主に実施しています。病棟専属の管理栄養士へ相談することは可能なので連携しながら実施しています。スタッフ数は業務時間など限られているため、一人一人に手厚い指導を実施することは困難ではありますが、できるだけ多くの患者様へたくさんの情報を提供できるようにと、2~3ヶ月に1回ペースで掲示物を作成しています。もちろん定時採血の結果、自己管理が上手くいっていないであろうと考えられる患者様に対しては、ピックアップして個別で患者指導を実施しています。患者様がわかりやすいように、できるだけイラストや写真を使い、患者様の悩みに対してリアルタイムで指導できるよう心がけています。



# 透析スタッフの様子



師長の唐鎌です。  
みんなで協力し合い  
業務にあたっています。



## 透析看護師の声

田中 里奈



私は趣味がサーフィンで夫と息子の3人で6年ほど前に大阪から千葉へ移住してきました。大阪でも透析看護に携わっていたため、千葉でも透析看護に携わりたいと考えていました。

山之内病院を選んだポイントは、患者様の急性期に関われるという点です。当院には内科・外科・整形外科の外来もあり、PTA やシャント造設も実施しております。一般病棟があるため、外来、病棟、透析と連携し院内でのシャント造設から透析導入、その後、維持透析に移行するまでの一連の流れに関わることができます。

また、透析特有の心不全・肺水腫・感染症など発症した際も、他院へ転送するのではなく当院の一般病棟へ入院することが可能なため、患者様の急性期の病態や看護についても勉強することが可能であるということでした。実際に仕事をしてみて、透析導入からの関わりや、急性期の患者様の看護もすることで多くのことを学んでいると思います。また、そのような時期を、患者様に寄り添い一緒に乗り越えることで、より信頼関係も深まり、患者様と良好な関係を築くこともできました。

現在、一人の子供を子育て中で2人目を妊娠中。仕事と家庭の両立をするために不安なこともたくさんありますが、当院の透析センターでは子育ての先輩もたくさんいらっしゃるため、子供の体調不良や行事などでも休暇を取得することに理解もあり、取得しやすいです。また、業務内容も無理のない範囲なので、ほとんど定時で帰宅できています。

この病院で働き始めて5年ほど経過し、家事・育児・趣味・勉強と色々な面で生活が充実できていると思っています。今後も看護師として成長しながら、自分の生活も充実していければ良いなと思っています。



## 看護補助者の声

私たち看護補助者は、透析治療にとって大切な透析の前後の体重測定を任されています。車イスや服装、履物の重さや患者様の様子が普段と変化がないかチェックをします。

そして個々の患者様が使用する、血液回路やファイバー等を準備、回収、ベッドメイク等を行っています。

透析を受けている患者様が少しでも快適に、透析を終えて頂けるように安心安全の為に見守り、行動しています。

緊張する場面もありますが、やりがいを感じて仕事をしています。



山之内病院透析センターは、ベッドサイドコンソールが49台、個人用装置が1台、計50台で透析治療を行っています。HHDF、オンラインHDFの治療可能な機器が13台あり、オンライン治療も増えつつあります。それに伴いRO装置も昨年更新し、よりきれいな透析液を作成しています。セントラルも2台あり、十分な透析液を作成し提供しています。また、個人用装置が1台あるので、急変時にも対応可能となっています。



### ME 新人 渡辺優花

山之内病院の透析センターは、雰囲気良く、新人が少ない分、丁寧に指導してもらっています。

初めの頃は、慣れないことも多く大変に感じましたが、休暇も取りやすいので無理なく勤務できています。

私は将来、結婚や育児をしながらも仕事をつづけたいと考えています。透析センターのスタッフでも育児をしながら働いている人もいますので、良いと思いました。



一緒に働いてくれる方  
透析業務に興味ある方  
大募集！！